

問9 あなたは、次の（１）～（１０）の項目に関する行政の取組み状況について、この５年間に改善されたと思いますか、悪化したと思いますか。すべての項目についてお答えください。（それぞれ１つに○）

	1 思改善 された と	2 変 わ ら な い	3 思悪 化 した と	4 わ か ら な い
（１） 非正規雇用など不安定な就労状態にある人の自立を支援するための取組み状況	1	2	3	4
（２） 人権侵害があった場合、それを救済するための制度と取組みの状況	1	2	3	4
（３） いじめや児童虐待を防止するための対応策など、子どもの人権を守るために必要な取組みの状況	1	2	3	4
（４） ドメスティック・バイオレンス（DV）やセクシュアル・ハラスメントなど、女性の人権を侵害する問題に対する取組みの状況	1	2	3	4
（５） 障害のある人の生活に必要な自立支援や雇用の促進などの取組みの状況	1	2	3	4
（６） 老後を安心して暮らせるよう、高齢者の生活を支援するための取組みの状況	1	2	3	4
（７） HIV感染者やハンセン病回復者などの人権問題やそうした人々の生活を支援するための取組みの状況	1	2	3	4
（８） 同和問題の解決に向けて、今日的な課題に対応する取組みの状況	1	2	3	4
（９） 大阪で生活する外国籍の住民が、安心して暮らせる環境を整えるための取組みの状況	1	2	3	4
（１０） 個人情報の保護に関して必要な取組みの状況	1	2	3	4

問10 大阪市では、各区役所で人権相談窓口を開設し、担当の職員が人権侵害などの相談に応じながら、相談者とともに解決方法を考え、適切なアドバイスを行うほか、相談内容に応じた専門相談機関を紹介・取次ぐなどの方法で相談者を支援しています。あなたは、この相談窓口をご存知ですか。（○は１つ）

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問11 大阪市では、平成22（2010）年4月から、専門相談員による人権相談を実施しています。平日の昼間だけでなく、平日夜間や土・日・祝日にも電話または面談による相談を実施しているほか、区役所・市民交流センターを専門相談員が巡回し、面談による相談に応じています。あなたは、この相談窓口をご存知ですか。（○は１つ）

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

続いて、人権について学ぶための機会に関して、あなたのお考えをお聞きます。

問 12 あなたは、学校、職場及び地域で、人権問題についての学習を経験したことがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 小学校で受けた | 6. 職場の研修で受けた |
| 2. 中学校で受けた | 7. PTAや民間団体が主催する研修で受けた |
| 3. 高校で受けた | 8. その他(具体的に: _____) |
| 4. 大学で受けた | 9. はっきりと覚えていない |
| 5. 市民対象の講座などで受けた | 10. 受けたことはない |

問 13 へ
お進み
ください

問 12-1 問 12 で「1～8」のいずれかに回答された方にお聞きます。その中で、あなたの人権意識を高めるうえでとくに役に立った(いちばん印象に残っている)ものはどれですか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 小学校で受けたもの | 6. 職場の研修で受けたもの |
| 2. 中学校で受けたもの | 7. PTAや民間団体が主催する研修で受けたもの |
| 3. 高校で受けたもの | 8. その他(具体的に: _____) |
| 4. 大学で受けたもの | 9. 役立った(印象に残った)と思うものはない |
| 5. 市民対象の講座などで受けたもの | |

問 13 へお進みください

問 12-2 それは、どのような分野でしたか。また、どのような形式でしたか。
(それぞれ○は1つ)

■分野

1. 女性の人権問題
2. 障害のある人の人権問題
3. 高齢者の人権問題
4. 子どもの人権問題
5. 同和問題
6. 外国籍住民の人権問題
7. 職業や雇用をめぐる人権問題
8. ハンセン病回復者やHIV感染者の人権問題
9. その他
(具体的に: _____)
10. 覚えていない、わからない

■形式

1. 教師や学識者による授業、講義・講演
2. 差別を受けている当事者や、それを支援する団体等の職員による授業、講義・講演
3. 映画・ビデオなど映像媒体を用いたもの
4. グループ討論や模擬体験等を通じた参加・体験型の学習
5. リバティおおさかやピースおおさかなど、人権問題に関する施設の見学
6. 人権問題に関する歴史をたどるフィールドワーク等の学習
7. その他(具体的に: _____)
8. 覚えていない、わからない

あなたがご自身のことをどう思っているかについてお聞きします。

問 13 あなたは、自分自身のことをどのように思っていますか。

次の（１）～（８）のすべての項目についてお答えください。（それぞれ１つに○）

	1 あてはまる	2 ややあてはまる	3 あまりあてはまらない	4 あてはまらない	5 わからない
（１） 現在、自分の生活は充実している	1	2	3	4	5
（２） 最近、自分の生活は生きづらくなってきたと思う	1	2	3	4	5
（３） 自分には、ほかの人にはないよい点があると思う	1	2	3	4	5
（４） 自分は何をやってもだめな人間だと思うことがある	1	2	3	4	5
（５） 自分は、人とうまくやっていける人間だと思う	1	2	3	4	5
（６） 自分は、まわりの人から期待されていないと思うことがある	1	2	3	4	5
（７） 自分は、困難なことでも、何とかやり遂げることができると思う	1	2	3	4	5
（８） 自分の人生は、どんなに努力しても、うまくいくとは限らないと思う	1	2	3	4	5

問 14 あなたご自身と社会との関係について、次の（１）～（５）のすべての項目について
お答えください。（それぞれ１つに○）

	1 あてはまる	2 ややあてはまる	3 あまりあてはまらない	4 あてはまらない	5 わからない
（１） 自分には、どんな時でも自分を受け入れ、 認めてくれる人がいる	1	2	3	4	5
（２） 信頼できる少数の友だちとは深くつきあう ほうだ	1	2	3	4	5
（３） 人間関係のトラブルが生じたら、相談でき る人がいる	1	2	3	4	5
（４） 家の中にも、職場や学校にもどこにも自分 の居場所がないような気がする	1	2	3	4	5
（５） 自分には信頼できる人がいる	1	2	3	4	5

ここからは、主に同和問題についてお聞きます。

問 15 あなたが日本の社会において、同和問題や部落問題などと呼ばれている差別の問題があることをはじめて知ったのは、どういうことがきっかけですか。(○は1つ)

1. 父母や家族から聞いた
2. 近所の人から聞いた
3. 学校の友だちから聞いた
4. 学校の授業で教わった
5. 職場の人から聞いた
6. 講演会、研修会などで聞いた
7. 府県や市町村の広報誌などで読んだ
8. テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍などで知った
9. インターネットのサイトなどで知った
10. 近くに同和地区があった
11. 自分の身近で同和問題に関する差別があった
12. その他(具体的に: _____)
13. 覚えていない
14. 同和問題については、知らない → 問 25へお進みください

問 16 一般的に、世間ではどのようなことで同和地区出身者と判断していると思いますか。(○はいくつでも)

1. 本人が現在、同和地区に住んでいる
2. 本人が過去に同和地区に住んでいたことがある
3. 本人の本籍地が同和地区にある
4. 本人の出生地が同和地区である
5. 父母あるいは祖父母が同和地区に住んでいる
6. 父母あるいは祖父母の本籍地が同和地区にある
7. 父母あるいは祖父母の出生地が同和地区である
8. 職業によって判断している
9. その他(具体的に: _____)
10. わからない

問 17 あなたは、同和地区や同和地区の人に対する差別意識が、いまでも残っていると思いますか。(○は1つ)

- 1. 差別意識は現在もあまり変わらず残っている
- 2. 差別意識はさらに強くなっている
- 3. 差別意識は薄まりつつあるが、まだ残っている

4. 差別意識はもはや残っていない

5. わからない

問 18 へお進みください

問 17-1 問 17 で「1～3」のいずれかに回答された方にお聞きします。同和問題に関する差別意識がなくなる理由は、なぜだと思いますか。(○はいくつでも)

- 1. 結婚や住居の移転などに際して、同和地区出身者やその関係者とみなされることを避けたいと思うから
- 2. 差別落書きやインターネット上での^{ひぼう}誹謗・中傷など、差別意識を助長する人がいるから
- 3. 同和問題を口実に不当な利益等を要求する、いわゆる「えせ同和行為」などを見聞きすることがあるから
- 4. 運動団体の一部活動家による不祥事などがあったから
- 5. マスメディアによって、同和問題に関わる不祥事などが大きく取り上げられることがあるから
- 6. 運動団体による活動が、市民の共感を得られず、逆に反感を招いているから
- 7. 同和問題を解決するために行ってきたこれまでの同和対策の必要性が十分に理解されていないから
- 8. いまでも同和地区の人が、行政から優遇されていると思うから
- 9. 同和問題について積極的になくそうとする方向で活動するのではなく、あえて距離をおこうとする人が増えたから
- 10. これまでの教育・啓発の手法では、差別意識をなくすことに限界があるから
- 11. 同和地区の人の生活実態が、現在でも困難な状況におかれたままだから
- 12. 差別をしてはいけないと規制する法律がないから
- 13. 昔からの偏見や差別意識を、そのまま受け入れてしまう人が多いから
- 14. その他(具体的に: _____)
- 15. わからない